

# 小地域福祉 かわら版

## 地域での見守りネット

### ワークを目指して！

町・民生委員・社協で

### 情報交換会実施

1月23日に「地域見守りネットワークに関する情報交換会」を、町介護福祉課、民生委員、社協の3者により開催しました。  
現在の大井町における状況が報告された他、他市町での見守りネットワークの事例紹介がされました。その後は、3者での意見、情報交換を行いました。

### 災害時要援護者制度

町内では、災害時要援護者制度に現在216名が登録されていますが、そのうち83名が地域支援者の欄が空欄となっているのが現状です。  
地域支援者とは、日頃から要援護者へ見守り、声掛けなどを行うとともに、有事の際には、情報提供や避難誘導等の支援を行うとされています。ただ、有事の際は地域支援者も被災者であることも考えられるので、支援に責任を負うものではありません。  
地域支援者が登録できない要援護者が、83名もいる現状を考えると、要援護者と近隣の支援者の関係性をどのように構築し、このような方々を地域でどのように見守っていくかが大きな課題といえます。

【発行者】 社会福祉法人大井町社会福祉協議会  
住所 大井町上大井68 2  
84 3294 FAX 85 3123  
メール info@ooi-shakyo.jp  
URL http://ooi-shakyo.jp

### 3者での協議

社協では、自治会を単位に小地域福祉活動を推進しています。小地域福祉活動の大きな目的は、地域での見守り体制の確立です。  
例えば、有事の際、隣近所がお互いに助け合い・支えあいができる体制・関係ができていくかどうかです。実際地域の中で、このような関係性ができているかという点必ずしも十分とは言えないのが現状です。  
そしてこのような関係性（つながり）を構築しようと進めるに当たり、地域内で支援を必要とする方の情報をどのように把握するか、つまり情報の集め方が大きな課題となります。



一方、民生委員は、地域の情報が行政等から投げかけられ、その情報を整理して、個別に様々な形で支援したり関係機関へつなげたりしています。  
地域内での民生委員の役割は非常に重要であるとともに、自治会や小地域等と上手な連携を取ることが求められています。  
情報の集め方とその活用方法を検討し、工夫することで、地域内での要援護者への支援の取り組みに一步近づいていくかもしれません。そして、各地域の特性を活かした「地域での見守りネットワーク」ができていくことが、安心して誰もが住みよいまちに近づいていくことと思います。  
今後もこの情報交換会を定期的に開催していく予定です。

## 小地域福祉活動推進組織 連絡会 開催します

すでにご案内しておりますが、小地域連絡会を次のとおり開催いたしますので、ご多忙のことは存じますが、各組織代表者のご出席をお願いいたします。

- 1. 日時 2月20日(月)  
午後1時30分～3時30分頃まで
- 2. 場所 町中央公民館  
2階 第3会議室
- 3. 内容 地域での見守り活動について  
平成24年度助成金について  
情報交換・その他

## 東日本大震災 被災地支援活動から学ぶ 地域福祉研修会 開催

足柄上地区社協連絡会では、「東日本大震災被災地支援から学ぶ」をテーマに研修会を開催します。

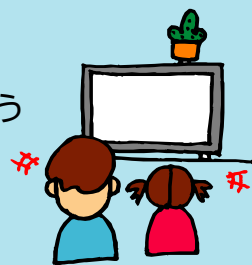
現地でボランティアコーディネーターとして活動した報告と「災害時におけるつながり、たすけあいの重要性」と題して講演を行います。  
特に小地域福祉活動推進組織の皆さまのご参加をお待ちしております。お申込みは、各地区ふくしの会会長、または町社協事務局までお願いいたします。

日時 2月29日(水)  
午後1時30分～4時  
場所 開成町福祉会館  
多目的ホール  
内容 被災地支援活動報告  
講演テーマ 「災害時における『つながりたすけあい』の重要性」  
講師 石井布紀子氏  
(NPO法人さくらネット 代表理事)

### 地域のうごき

### 2月分

2月 4日(土) 午後1時 ~ 3時 上大井自治会館  
“つどい” (上大井) 【節分豆まき 赤鬼・青鬼と遊ぼう  
マジックショー】



### 広報のお知らせ

各地区の広報紙が社協のパンフレットラックにありますので、ご自由にお持ちください。

金手 ふれあい金手 第28号【平成24年2月 1日】  
篠窪 しいの木ネットワーク 第6号【平成24年2月15日】

### 編集後記

### お詫びと訂正

先月号で掲載しました上大井の水曜コミュニティの内容に誤りがありましたので、お詫びして訂正いたします。

誤 上大井福祉わかばの会  
正 上大井青少年育成会